

Ⅲ. 委員会活動

1. 広報委員会

委員長 境 隆弘

委員 中村憲正 松井理直 柴田雅朗 辻 郁 吉田 文 山田隆人
大槻桂右 清田直恵 島 雅人 重澤祥介 井口知也 井崎基博
岩村正子 棚橋康裕

オブザーバー 石倉 隆

平成 23 年度の広報委員会は昨年度と同様、業務毎にワーキンググループを形成し活動を実施した。以下に業務毎の活動内容を報告する。

(1) 大学案内の作成

“受験生が手に取り、ページを開いて目を止めるような大学案内作り”をコンセプトに、表紙の大幅改訂をした。

(2) ホームページ運営

大学の情報を随時発信するのを目標に、トピックスを年間 59 件更新した(昨年度 29 件)。

(3) オープンキャンパス運営

昨年度同様、“志願数は大学施設への直接来場者への対応で決まる。小さいながらも魅力的な大学であることを見せる”をテーマに、学生、教職員一丸となって計 9 回開催し、述べ 681 名の参加を得た(平成 22 年度と比較して 1.5 倍増。平成 21 年度と比較して 1.9 倍増)。参加者の概ね 4 割が出願する結果となった。

(4) 大学通信発行

昨年度から 2 カ月に 1 回の定期刊行化を実現し、今年度も欠けることなく発刊できた。

(5) 学外広報活動(ガイダンス、出前講義など)

昨年度同様、企業ならびに高校から依頼されるガイダンスや出前講義を積極的に受けた。出前講義は講師都合で断ることのないよう、複数教員で対応できるようテーマを見直した。

2. 自己点検・評価委員会

委員長 佐藤秀紀

委員 柴田雅朗 山口 忍 石倉 隆 中山広宣 福井信佳 足立 一
清田直恵 重澤祥介 島 雅人 吉機俊雄 正木明人

(1)第1回自己点検・評価委員会の開催

日時：4月13日（火） 13:00～14:20

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、中山教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、清田助教、島助手、重澤助手、正木課長

審議事項：自己点検評価にかかるスケジュール等について

(2)第2回自己点検・評価委員会の開催

日時：5月17日（火） 13:00～14:20

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、中山教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、清田助教、島助手、重澤助手、正木課長

報告事項：委員長報告

審議事項：大学年報について

(3)第3回自己点検・評価委員会の開催

日時：6月21日（火） 13:00～14:20

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、中山教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、島助手、重澤助手、正木課長

審議事項：大学年報WGの検討結果について

(4)第4回自己点検・評価委員会の開催

日時：7月13日（火） 13:00～14:20

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、島助手、重澤助手、正木課長

審議事項：大学年報の進捗状況について

(5)第5回自己点検・評価委員会の開催

日時：9月20日（火） 13:00～14:10

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、島助手、重澤助手、北川次長

審議事項：大学年報の事務局記載項目について

(6)第6回自己点検・評価委員会の開催

日時：10月18日（火） 13:00～13:50

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、島助手、重澤助手、北川次長、正木課長

審議事項：①大学年報の事務局記載項目について（継続審議）

②大学年報今後のWG作業（教員業績）について

(7)第7回自己点検・評価委員会の開催

日時：11月15日（火） 13:00～13:30

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、島助手、重澤助手、正木課長

審議事項：①大学年報の事務局記載項目について（継続審議）

②大学年報今後のWG作業（教員業績）について（継続審議）

③大学年報（編集）について

(8)第8回自己点検・評価委員会の開催

日時：12月20日（火） 13:00～13:10

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤教授、石倉教授、山口教授、柴田教授、福井准教授、吉機講師、足立講師、島助手、重澤助手、正木課長

審議事項：大学年報の進捗状況と大学年報 up の確認について

3. FD 委員会

委員長 森岡悦子

委員 佐藤秀紀 今井公一 橋本卓也 早坂友成 井崎基博 松崎英明

オブザーバー 石倉 隆

FD 委員会では、教員の教育内容の改善と教育力の向上を目的とし、下記の事項を検討し実施した。

(1) 学生による授業評価アンケートの実施

前期・後期の最終授業終了後に、オムニバス科目を除き、専任教員と非常勤教員の担当する全科目について、学生による授業評価アンケートを実施した。マークシートは、学生自身の学習への構え・教材の利用・授業の分かりやすさ・教員の意欲等についての 5 段階評価と記述項目で構成されている。授業評価アンケートの結果は、FD 委員会から担当教員に報告し、教員は各自で授業を振り返るとともに、アンケート結果に対する応答とメッセージを記述し、それらを「担当教員から学生へのフィードバック」として、学内 Web に掲載した。前期は、保健医療学部 59 科目、言語聴覚専攻科 17 科目、計 76 科目、後期は、保健医療学部 39 科目、言語聴覚専攻科 17 科目、計 56 科目に、アンケートを実施した。

(2) 授業評価アンケートの改訂

学生による授業評価アンケートは、2011 年度より実施・活用とも FD 委員会にて行うこととなり、審議の結果、アンケート内容と実施方法について必要な改訂を行った。

①アンケート項目については、内容が類似する項目を整理し、質問意図が明確になるよう項目数を絞り改訂した。②アンケートの回収は各科目担当学生が実施することとした。③自由記載事項の記述方法については Moodle 記入することとした。尚、①は 2012 年度より開始、②③は 2011 年度より開始する。

(3) FD 講演会について

優れた医療人を育成するための授業のあり方として、専門知識を習得するための学力の充実と、臨床家としてのコミュニケーション能力の獲得という観点が重要と考え、これらをテーマとした FD 講演会を企画した。第 1 回「学習意欲の低い学生への取り組みについて。教育機会をどう捉え、学生の意欲をどのように高めるのか。」(講師：佛教大学教授 原清治先生)、第 2 回「臨床で求められるコミュニケーション能力とその教育法」(講師：岐阜大学教授 藤崎和彦先生) の講演会を開催した。いずれの講演も参加者からきわめて好評であり、教育のあり方について貴重な示唆を得る機会となった。

(4)FD 研究会

本学における授業のあり方について、出席した教員間で意見交換のできる FD 研究会を企画した。「医療職者を育てる授業. 運動学の教授法」をテーマとし、本学の境隆弘教授より、学生が授業に興味を持ち理解を深めるための工夫について提示頂いた。発表では、学生の個性や傾向をどう意欲に結びつけているか、演習を通して医療人としてのマナーやコミュニケーション力をいかに習得させるかなど興味深い内容が紹介され、会場の教員と具体的な意見交換がなされた。

FD 委員会は、今後も外部からの新情報を取り入れながら、各教員が自らの授業を振り返る機会となる企画を検討していく方針である。

4. 図書委員会

委員長 山口 忍

委員 松井理直 境 隆弘 福山智子 橋本卓也 大西 環 辻 祥子

図書委員会は計 9 回開催し、学生満足度向上を目的とする図書館機能充実に向けた作業について、本委員会で適宜検討、実施した。また図書館利用の現状（自習場所としての図書館利用の実態）をふまえて、多くの学生が快く図書館利用できるように改善すべき点についても併せて検討した。

(1) 委員会開催日時

- 1) 5月10日 16時20分～17時50分
- 2) 6月7日 //
- 3) 7月5日 //
- 4) 8月30日 14時40分～16時10分
- 5) 10月4日 16時20分～17時50分
- 6) 12月6日 //
- 7) 1月10日 //
- 8) 2月7日 //
- 9) 3月6日 //

(2) 委員会開催場所と委員会メンバー

1号館3階小会議室 山口忍委員長 橋本卓也副委員長 松井理直委員
境隆弘委員、大西環委員 福山智子委員
高橋知子司書 田中佳子司書
辻祥子事務 北川悟次長

(活動内容)

- ① 図書館機能改善に向けての学生アンケートの実施（6月20日～7月9日）全学生対象
- ② 学生アンケート結果分析と大学通信への結果掲載
- ③ 専攻学科等の希望図書、雑誌、映像資料の調査と購入
- ④ 雑誌15タイトルの製本
- ⑤ 学生選書ツアーの実施（11月1日）各専攻全学年各2名 図書委員全教員＋
北川次長
- ⑥ 学生選書ツアーの小冊子作成
- ⑦ ツアー購入図書の図書館展示
- ⑧ 活動のプレゼンテーションとしての掲示物の作成と掲示
- ⑨ 大学通信へ図書館便りの掲載
- ⑩ CiNi 導入の検討

⑪ 新入生図書館ツアーの検討

(主な活動の概略)

- ① 前年度に作成されていた「サービス改善に向けた学生アンケート」の項目について再検討後、その質問項目について全学生を対象に調査した(資料1)。アンケートは大項目として、Ⅰ利用状況と目的 Ⅱ利用行動 Ⅲ満足度 Ⅳその他の4項目、下位項目として中項目10 小項目16で構成されている。それぞれに尺度を設けて、実態把握が詳細に行えるように構成。配布数は398、回収数は387、有効回答は94.9%であった。
- ② アンケート結果の分析として、あまり利用されていない実態が浮き彫りに。全く利用していない学生が全体の23.25%を占め、残りの学生も月・週に1, 2回利用するものが60%あった。利用目的としては、授業の予習・復習、レポートの作成、定期試験勉強に活用している者が多く、次いでゼミ資料の作成、実習前後の学習に利用されていた。また、レポートや資料の印刷などに使用すると回答するものも。利用行動として、目的とする資料の検索の際、司書に尋ねると回答したのは約8%、ホームページの図書検索を利用しているのは約6%に過ぎなかった。その結果、目的とする資料がみつからなかったというものが62%に上り、さらにその中で61%のものが、それ以上の検索を諦めたと回答、図書館利用の効果を実感しにくい状況と思われた。図書館の蔵書内容、座席数、環境、開館期間等について聞いた満足度では、非常に不満足・少し不満足の内合計が50~60%を超えたのは、自習目的の座席数、資料閲覧の座席数、PC利用目的の座席数の3項目で、いずれも座席数に不満足であるとのこと。40%を超えていたのは、専門図書の内容と冊数に関するもの、他項目はいずれも40%以下であった。電子化資料の利用(無料分)について聞いたものでは、約54%が利用したいと回答した。その他として自由記載で尋ねた要望では、最も多かったのが座席数の増加。次いで、静かな環境を維持して欲しいというものであった。

⑤⑥⑦学生選書ツアー・その他

選書委員を学生から選出し学生による選書の実現が、前年度より検討されてきたが、年度末までに具体化されなかったため、学生により選書ツアーを企画、実施した。3専攻の全学年の学生(1学年2名ずつ)を選出、委員全員と京阪モール・ジュンク堂へ行き、全ジャンルの中から、OHSUの図書室に入れるにふさわしい本を選択、購入した。選んだ本は多岐にわたり、学生のニーズの一端がうかがえたが、流行の一般書に加えて、専門的事柄を一般読者向けに平易に記した解説書や入門書に人気があった。選んだ図書は、1か月間選択した学生に貸し出され、読後に推薦文を書かせた。推薦文と学生の顔写真を掲載した小冊子を印刷会社に依頼して作成、全学生に配布し、大学報にも掲載、オープンキャンパスにも配布予定となった。また、当日の様子をプレゼンテーションする掲示物を後日作成、図書室外などに掲示して、活動を紹介した。図書室内には、購入した図書のコーナーを作成、ポップなど貼り付け、利用者にアピール、貸出可能図書とした。

5.入試委員会

委員長 中山広宣

委員 柴田雅朗 石倉 隆 山口 忍 吉機俊雄 佐藤 誠 北川 悟

平成24年度入試に関する検討会議を以下の内容を中心に6回実施した。

- (1)リハビリテーション学科におけるAO入試，公募制推薦入試，一般入試，社会人入試，大学入試センター試験の実施要領を検討した。
- (2)リハビリテーション学科におけるAO入試の面接評価，小論文評価，調査書評価の方法，公募制推薦入試の面接評価，調査書評価の方法，および，社会人入試の面接評価，小論文評価の方法を検討した。
- (3)学生募集要項における入学前教育の記載内容を検討した。
- (4)学生募集要項の作成を行った。

6. 学生委員会

委員長 藪中良彦

委員 今井公一 福山智子 早坂友成 山田隆人 中平剛志 斎藤典昭
高棕綾子 白神康裕

オブザーバー 石倉 隆

(1)学生自治会援助

- 1) 自治会役員選挙援助：役員選挙実施を援助した。
- 2) 学生自治会主催行事援助：新入生歓迎会（5月30日）と学園祭（10月22日）と球技大会（12月10日）の実施を援助した。
- 3) クラブ・サークル設立及び活動の援助：自治会と共にクラブ・サークル新規設立と更新の審査を実施した。
- 4) 自治会会計援助：自治会予算作成、予算執行、決算の援助を実施した。

(2)学生生活アンケート実施

6月に全学生を対象に学生生活アンケートを実施し、その結果をまとめ、大学及び福田学園への提言を行った。

(3)学生向け研修会・講習会主催

6月に人権に関する研修会を開催した。9月に開催予定であった薬物依存防止に関する研修会は、台風の影響で中止となり来年度に延期となった。

(4)保健管理室との連携

- 1) 学生委員会会議で毎回保健管理室の状況の報告を受け、保健管理室との連携を図った。
- 2) 健康管理室では、7月より整形外科に加えて内科と婦人科に関する健康相談室を開室した。

(5)非常時の対応についての確認

学園の非常時対策マニュアルの確認を行った。

7.臨床実習委員会

委員長 藪中良彦

委員 福井信佳 大友健治 岩田 篤 中平剛志 井口知也 前田留美子

棚橋康裕 本山慎一

オブザーバー 石倉 隆

(1)臨床実習指導者会議の検討

臨床実習指導者会議を、各専攻、専攻科がそれぞれの日程で開催した。

(2)実習施設との「実習契約書」の取り扱いの検討

「実習契約書」締結時は、稟議書にて決済を仰ぐことになった。

(3)臨床実習謝礼金に関する検討

大学既定の臨床実習謝礼金額以上の実習謝礼金の支払いについての検討方法を決定した。

(4)臨床実習指導者の届け出に関する検討

「実習指導者確認書」の印は「公印」とすることに決定した。

理学療法と作業療法の臨床実習指導者の経験年数は、申請書提出時点で3年を満たしている必要があることの確認を行った。

(5)臨床実習における事故・災害時対処マニュアルの作成

臨床実習中の事故への対処方法に災害時の対処方法を加えて、「臨床実習における事故・災害時対処マニュアル（2011年6月改訂版）」を作成した。

(6)大阪保健医療大学臨学共同参画センター開所

平成24年2月3日に、錦秀会阪和第二泉北病院研修センター内に、臨床実習の拠点となる大阪保健医療大学臨学共同参画センターが開所された。

(7)冬の臨床実習前のインフルエンザ予防注射の検討

冬の臨床実習前のインフルエンザ予防注射の接種を学生に促すことになった。

8.教務委員会

委員長 柴田雅朗

委員 森岡悦子 藤岡重和 辻 郁 佐藤睦美 足立 一 大槻桂右 重澤祥介
井口知也 島 雅人 大西 環 北川 悟 島崎佑一 辻 祥子

オブザーバー 石倉 隆

平成23年度教務委員会で大きな審議事項が2つあった。従来、1年に1回であった単位認定を平成24年度から半期毎に実施する。もう一点は進級制度も平成24年度入学の学生から変更する。1年から3年までは「専門基礎と専門」科目において1科目でも不合格であれば進級出来ない。3年から4年ではどの科目においても、1科目でも不合格であれば進級出来ない。

卒業研究についてのあり方、進め方について具体的な審議が繰り返された。その結果、教務委員会内に卒業研究実施許諾分科会を設け、卒業研究計画書と卒業研究倫理チェックシートを作成し、これに基づきチェックを行った。卒業研究は最終的にはCD-R版とし、学生に配布する。

入学前オリエンテーションではワーキンググループが主体となり、PC操作の基礎、解剖学の基礎といった内容で行われた。

新カリキュラムの提案を各専攻に問いかけ、それらの案を検討し、最終的に統合して精査した(科目の名称変更、単位数、再履修者が受講する際に読み替えが出来るか等)。大学の様々な現行スケジュールの見直しを図った。例えば、国家試験を受験するためには厚労省に卒業証書を3月15日必着で送付しなければならないため、卒業式は必然的に3月15日以前としなければならないなど。また、非常勤講師の補充人事、学生の諸問題について随時、対応を行った。

9. キャリアサポート委員会

委員長 松井理直

委員 洲崎俊男 吉田 文 大友健治 前田留美子 本山慎一

オブザーバー 石倉 隆

キャリアサポート委員会は、学生の就職活動およびキャリア教育の支援を行うことを活動の主目的としている。就職活動に具体的に役立つ様、履歴書・自己 PR の書き方や社会人としてのマナーを簡潔にまとめたパンフレットを作成している他、面接の実習を中心にした就職活動支援セミナー、および新入生のマナー意識を高めるためのベーシックマナー・セミナーを開催している。2011 年度の活動は以下の通りである。

(1) 委員会の実施日時と議題

第1回 (2011年4月12日): 学生の実習前研修、就職支援セミナー用パンフレットの検討。

第2回 (2011年5月10日): 就職支援セミナー、ベーシックマナー・セミナーの内容検討。

第3回 (2011年6月18日): ベーシックマナー・セミナー実施後の反省と今後の検討。

第4回 (2011年7月19日): 実習前研修の改善点の検討と、実習後の学生意見収集の検討。

第5回 (2011年10月11日): マナー研修の次年度案、ST 対象の就職活動準備について。

第6回 (2011年11月8日): PT・OT・ST の就職準備セミナーの検討、パンフレット作成。

第7回 (2011年12月13日): 就職資料の管理方法の検討、来年度予算の決定。

第8回 (2012年1月10日): 求人票の moodle 上での公開。ST 就職準備セミナーの日程。

第9回 (2012年2月14日): OT就職準備セミナーのパンフレット作成。

第10回 (2012年3月15日): OT就職準備セミナーの反省会と今後の実施方法の検討。

(2) 新入生ベーシックマナー講習会の実施

2011年6月18日(土) 10:40~12:15 まで、2号館601教室で実施。

参加者は PO 1年生 122 名で、充実した内容であった。ベーシックマナーセミナー用のパンフレットも作成し、これも学生には好評であった。ただし、時間配分の点で問題が

あったため、平成24年度は基礎ゼミナールの時間帯に、内容を絞り込んで実施することとなった。

(3) 就職準備セミナーの実施

2012年3月15日9:00～12:10に OT 対象の就職準備セミナーを2号館講堂で実施した。参加者は OT3年生 18 名で、就職準備セミナー用に作成したパンフレットを基に、自己PR、自己分析、履歴書の書き方について講師から各人が直接指導を受けた後、面接の実習を行った。外部講師を招いた面接の様子は全てビデオに撮影し、セミナー終了後、ビデオを見て各人が反省する時間も持った。学生のアンケートでもとても好評で、来年度も継続して実施することとなった。

なお、PT, ST の就職準備セミナーは実習時期との兼ね合いも考えて、新4年生になってから実施することとなった。

(4) 2012年度の活動に向けて

2011年度に行った活動の反省点を踏まえ、PT・OT1年生対象のベーシックマナー・セミナーは、基礎ゼミナールの時間帯に行い、学生の勉学・社会的マナーに関する意識をより高める方向で実施することとなった。

また就職活動の支援については、実習に出ている学生が情報にアクセスしやすいよう、求人に関する基本情報を moodle 上で公開することとなった。また、就職準備セミナーについても、実習から戻ってきた時期を狙い、より内容の定着が図れる時期に実施することとなった。セミナー用のパンフレットの改良も引き続き行う予定である。

10.ハラスメント委員会

委員長 洲崎俊男

委員 辻 郁 福山智子 佐藤睦美 吉機俊雄 正木明人

(1)23年度から委員は、PT2名、専門基礎1名、OT1名(増員)、ST1名(増員)、事務1名から構成されることになり、各専攻や部署から参加して頂き、4名から6名に増員された。相談員は、教員男女各1名、事務職男女各1名、専門基礎1名で構成された。

(2)学生委員会が行うアンケート調査に、ハラスメントに関する項目を加えさせて頂き、ハラスメントに対する学生の認知度を確認した。

その結果、①ハラスメントの言葉は約6割がよく知っており、約3割が聞いた程度であり、周知度は約9割であった。②ホームページ、掲示板、新学期に配布したリーフレット内容を認知あるいは理解している学生は3~4割程度であった。

以上より、学生に対して更なる啓蒙活動が必要との結果が出された。

(3)(2)を受けて1年次に開講されている基礎ゼミナールの中にソーシャル・スキル向上の目的でハラスメント防止に関することを専門家により講演(90分)して頂くことを教務委員会に働きかけることにした。

⇒24年度前期の6月に奈良県立医科大学の御輿久美子先生による講演が予定された。

(4)教職員に対しては、福田学園が主催する人権講習会にハラスメントに関する内容を増やして頂くことを確認した。

⇒3月6日に教職員に対して、人権擁護士の梶山武志先生による講演が実施された。

参加者は、大学教員の14名、事務職員23名であった。

(5)学生からの相談数は0件であった。

11.国家試験対策委員会

委員長 藤岡重和

副委員長 山口 忍 佐藤 誠

委員 森岡悦子 福山智子 岡崎祐香 境 隆弘 今井公一 清田直恵 中平剛志
重澤洋介 辻 郁 吉田 文 山田隆人 足立 一 大友健治

(1) 委員会設立

平成 23 年 6 月頃より、1 期生の国家試験対策の早期実施が必要と思う教員有志（共通科目教員）で、対策準備の勉強会を始めた。その活動について国家試験対策準備委員会を設立する必要があるとの清野学長の肝いりで、10 月 4 日（火）～11 月 1 日までに 5 回の対策準備委員会、11 月 15 日からは対策準備委員会を国家試験全般の対策委員会に昇格して、平成 24 年 3 月 12 日（月）までの間に、計 6 回の対策委員会を開催した。対策準備委員会のメンバー（職位名省略）は、委員長・藤岡、副委員長・山口、委員として森岡、岡崎、福山、中平、大槻、重澤、山田、足立、大友の計 11 教員。対策委員会のメンバーは、委員長・副委員長そのまま、委員として森岡、岡崎、福山、辻、吉田、山田、足立、大友、境、今井、中平、清田、重澤の計 15 教員。

(2) 活動内容と総括

平成 23 年 10 月～平成 24 年 3 月までに実施した対策活動は、3 年生である 1 期生全員を対象に多くの教員の参集のもと実施した「国試対策オリエンテーション」、国家試験対策室（1 号館 6 階）の設置、過去 10 年～15 年分の過去問題の出題傾向の分析作業、その作業にもとづいた共通科目の対策講義シリーズ（15 コマ、生理学・運動学・消化器、解剖学、内科学、脳領域）、本学オリジナルの共通科目模擬試験問題の作成と実施、その解説講義等である。また、各専攻においても、専攻ごとに模擬試験の実施や学習の支援を臨床実習準備に併せて実施された。特に OT 学科では、夏季休暇中の共通問題領域の E-Learning を活用した問題の配信、空き講義時間の学習支援計画が立てられ、実施された。しかし、全体として臨床実習を前にして実技演習などの準備学習や、関連授業のレポート課題の比重が学習に占める比率が高く、国家試験に対する学生の取り組みは残念ながら低調なままであった。

また、対策講義後の模擬試験の成績は、当初我々が予想したものよりかなり低く、学習が進んでいないことが示唆され、対策講義を聞くだけでは、なかなか思うような成果を上げられないことが判明した。さらに、学事日程が既に決定した段階で、こうした活動を新たに織り込んでいく事の困難さや、対策活動だけでは到底カバーしきれない範囲も明らかになった。

(活動履歴)

第1回	準備委員会	10月4日	1号館1206室	12時～13時30分
第2回	準備委員会	10月11日	1号館大会議室	14時40分～16時30分
第3回	準備委員会	10月18日	1号館大会議室	15時30分～16時50分
第4回	準備委員会	11月1日	1号館大会議室	15時30分～17時
第5回	準備委員会	11月8日	1号館大会議室	15時20分～17時10分

第1回	対策委員会	11月15日	1号館大会議室	15時30分～17時10分
第2回	対策委員会	11月29日	1号館大会議室	15時30分～16時40分
第3回	対策委員会	12月20日	1号館大会議室	15時30分～17時
第4回	対策委員会	1月22日	1号館大会議室	15時～16時30分
第5回	対策委員会	2月21日	1号館大会議室	15時25分～16時10分
第6回	対策委員会	3月12日	1号館大会議室	16時～17時

- ・国試対策オリエンテーション 11月8日 2号館講堂 10時40分～12時10分

- ・国家試験の実施要項
- ・出題傾向の分析についての解説
- ・準備・学習の必要性への喚起

- ・国試対策講義シリーズ 11月18日～1月27日

中平、福山、大槻、岡崎、藤岡 境、森岡各教員
による解剖学・運動学・生理学・内科学・脳領域
の

対策講義

全15コマ

- ・取り組みチャートの作成とチャート記入の実施・分析
- ・模擬試験（共通問題領域・OHSU オリジナル問題）
- ・模擬試験終了後・各領域問題の解説講義

3月12日 1号館141教室 9時～16時